

2020年7月22日

**世界最小\*・最軽量\*・最至近\*、縦置き&コンパクトサイズの超短焦点プロジェクター  
 「RICOH PJ WX4153/WX4153N」を発売  
 ～スタンダードタイプのプロジェクターには 4K UHD 解像度モデルを追加～**

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、世界最小\*・最軽量\*・最至近\*の縦置き&コンパクトサイズの超短焦点プロジェクター「RICOH PJ WX4153/WX4153N」の2機種および、レーザー光源を採用し4K UHD 解像度に対応した「RICOH PJ UHL5970」を7月29日に発売します。

新製品は、リコー独自の自由曲面ミラーを採用し、プロジェクター本体の背面から投写面までの距離がわずか11.7cm(本体セット含め26.1cm)で48型の投射サイズを実現するなど、超短焦点モデルとして世界最小\*・最軽量\*・最至近\*の3大特長はそのままに、従来機を上回る3,600lmに輝度を向上しました。本体を横に傾けて設置することで、スクリーンだけでなく机上や床にも投影できます。新たな機能として、操作ボタンのカスタマイズやUSB給電機能の強化など使い勝手を向上させているほか、オプションのインタラクティブキットタイプ3(仮称:年内発売予定)を装着することで、電子ホワイトボードとしても利用できます。

オフィスのオープンなミーティングスペースでの打合せ、教室における授業やラーニング commons やセミナールームでのグループワーク、そして店舗やイベント会場でのサイネージなど、さまざまな用途で活用いただけます。

「RICOH PJ UHL5970」は、スタンダードクラスでありながら、レーザー光源による5,000lmの高輝度と、4K UHD(3,840×2,160)の高解像度を両立し、オフィスにおける映像設備の4K高画質化のニーズにお応えします。4K UHD出力のハードウェアとコンテンツの普及を見据えた、先進的なユーザーの方々にもご活用いただけます。

働き方の多様化に伴い効率的なコミュニケーションを求める企業に対して、リコーは新製品の導入を進め、お客様のワークスタイル変革を支援してまいります。

\*ミラー式の超短焦点ビジネスプロジェクターとして(2020年6月時点、リコー調べ)

**超単焦点プロジェクター**

製品名	RICOH PJ WX4153	RICOH PJ WX4153N
出力光束(明るさ)	3,600lm	
最大解像度	WXGA	
ワイヤレス投影	-	Miracast®, クイック® プロジェクション
映像ファイルの投影	-	○
価格	オープン価格	

 株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806(直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp  
 お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL : 0120-892-111

### レーザー光源 4KUHD解像度プロジェクター

製品名	RICOH PJ UHL5970
光源	レーザー
出力光束(明るさ)	5,000lm
最大解像度	4K UHD(4Kシフト入時)
本体無償保証期間	3年
価格	オープン価格



RICOH PJ WX4153



RICOH PJ UHL5970

## <「RICOH PJ WX4153/WX4153N」の主な特徴>

### 1. 世界最小・最軽量・最至近・そして明るい

設置場所を選ばない世界最小のコンパクトボディ(寸法 W257×D:144×H:221mm(突起部含まず)、無理なく運べる世界最軽量(本体質量:約3.0kg)、本体背面から投写面までわずか11.7cmの超至近投写(48型)、そして実用的な輝度(3600lm)を備えたパッケージングが、これまでにないデスクトップ設置スタイルを可能にしました。小さなデスクや打合せコーナーなどの狭いスペースでも投影でき、空いているスペースでいつでも気軽にコミュニケーションをはかれます。

\*1:ミラー式の超短焦点プロジェクターとして(2020年6月時点、リコー調べ)

### 2. 様々な設置バリエーション

デスクトップ設置のほかに、壁掛け設置、そして本体を横に傾けて設置することにより、机上や床にも投影でき、様々な用途に対応します。

### 3. 進化した電子ホワイトボード機能

オプションのRICOH PJ インタラクティブキット タイプ3(仮称:年内発売予定)を装着することで、電子ホワイトボードとしてお使いいただけます。付属ソフトのRICOH Interactive Whiteboard Lt for Windows®には、ホワイトボード機能に加え、投影した映像や資料の上書き機能と、それらをPDFで保存する機能を備えており、打合せや会議はもちろん、授業や研修などでも便利にお使いいただけます。

### 4. 便利な機能

#### ・ワイヤレス投影\*2

Android™やWindows®10などに搭載されているMiracast®に対応。また、付属ユーティリティソフト「QuickProjection」を使えば、ネットワーク経由で、最大4台までの同時(分割)投影が可能です。\*2

#### ・電源供給(1.5A)対応のUSB端子\*2

5V/1.5A出力が可能なUSB端子を搭載しているため、USBケーブルによるRICOH Wireless Projection(受信機)への給電も可能です。

#### ・ファイルの投影\*2

USBメモリーに保存した静止画(JPEG形式)や動画(MP4形式)を、パソコンを介さずダイレクトに投影できます。

#### ・ショートカット登録

「決定」ボタンに任意の機能を割り当てておくと、「決定」ボタンを押すだけで、その機能を実行できます。

- |           |       |        |
|-----------|-------|--------|
| ・プレゼンタイマー | ・部分拡大 | ・映像モード |
| ・自動台形補正   | ・フリーズ | ・壁紙モード |

\*2: RICOH PJ WX4153は非対応

## <「RICOH PJ UHL5970」の主な特徴>

### 1. スタンダードクラスでありながら、4K UHD解像度に対応

投写光を4ヶ所で周回させる、4Kピクセルシフト技術を実装することにより、パネルの解像度はフルHD(1,920×1,080)でありながら、1画素を4つの疑似画素に分割して4K UHD(3,840×2,160)解像度の投影を可能としました。またHDR(High Dynamic Range)入力にも対応し、明暗差を拡大したHDR対応の映像を、より効果的に表現します。

5,000lmの明るさと4K UHDの高解像度により、大きな会議室や教室でも明るく見やすい快適なプレゼンテーションをサポートします。また、HDR(High Dynamic Range)入力にも対応し、明暗差を強調したHDR映像をより効果的に表現します。レーザー光源を搭載することで、約20,000時間のメンテナンスフリー性能を実現しました。光源の交換の頻度が減ることで、従来の水銀ランプよりも経済的にご利用いただけます。

### 2. 明るく、起動が早く、安定運用を実現

高輝度レーザー光源を採用したことで、5,000lmの明るさと、高コントラストな色再現性の高い映像が投影できます。また、従来の光源よりも立ち上がりが早く、最大輝度に到達するまでの時間を大幅に短縮しています。さらに、レーザー光源は20,000時間の長寿命なので、安心してお使いいただけます。

※Miracast、および Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance の商標です

※Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Adobe PDF は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

※HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing Administrator, Inc の商標または登録商標です。

※MHL は、MHL, LLC の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

---

## | リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2020年3月期リコーグループ連結売上は2兆85億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>